



オムスワはOkayama Medical Social Worker Association の頭文字の略語です。

岡山県医療ソーシャルワーカー協会事務局：玉島病院内 倉敷市玉島乙島4030 <http://www.omswa.org/>

新年度になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの影響で、見通しが立ちにくい日々ですが、新たな気持ちでスタートを切りましょう！



◆専門コース 研修報告 (2020年2月22日(土)開催)

この度の研修では、森之宮病院 医療社会事業課 藤井先生より「MSWの専門性と組織・地域との協働性～ミクロ・メゾ・マクロ領域のSW実践プロセスを考える」と題してSWの実践につながる講義をいただき、その後グループワークを行いました。

いくつかの事例を紹介していただき、実践はSWの基礎に立ったものであると改めて気づかされました。メゾ・マクロ領域の支援といわれると難しいなと思っていましたが、メゾ・マクロ領域の実践例を聞くなかで、ミクロ領域の支援が、メゾ・マクロ領域の支援につながり、連続性をもった支援であるとわかり、日々の仕事に少し自信がつき、今後の刺激になりました。

また、グループワークでは日々の課題や今後取り組みたいことを共有し、業務の振り返りにもなりました。ありがとうございました。

芳野病院 杉山 早智

◆財務部からのお願い

2020年度の会費納入をよろしくお願いたします。

今月号のオムスワに同封している郵便振替用紙、または郵便局にある振込用紙に下記内容を記載したうえで、総会までに納入をよろしくお願いたします。

- ★ 口座番号 01260-1-12282
- ★ 加入者名 岡山県医療ソーシャルワーカー協会
- ★ 振込人 ○○病院 岡山〇子 (所属名を必ず記入してください)

会費振込みについてご不明な点がございましたら、財務担当 水島中央病院 若林までご連絡ください。

水島中央病院 TEL 086-444-3311

◆2020年度総会について

下記の日程で開催予定です。詳細は別途ご案内いたします。

なお、新型コロナウイルスに関する状況により急な変更も予想されます。当協会ホームページや会員専用掲示板等も活用して周知してまいりますので、時々ご確認ください。

日時：2020年5月17日(日) 13:00～(予定)

場所：川崎医科大学総合医療センター 川崎佑宣記念ホール(岡山市北区中山下2-6-1)

※総会記念講演は川村博文先生(聖徳大学教授)に講演を依頼しています。

◆事務局からのお知らせ

【倉敷市難病相談会 相談員派遣事業について】

長年、当協会より多くの会員の皆様方に相談員としてご協力をいただきました「倉敷市難病相談会」の事業ですが、事業母体である「倉敷市難病連絡会」が昨年度末で解散されました。それに伴い相談会の事業も終了となりました。ご協力いただきました会員の皆様ありがとうございました。

【会員の異動】

※ホームページ上では掲載しません。各施設へお送りしたオムスワ本誌にてご確認ください。

※年度初めで入退会など異動がある場合は、速やかに事務局までご連絡をお願いします。

会員名簿で所属機関の会員を再度ご確認ください、すでに退職されている方については所属機関の代理の方で退会手続きをお願い致します。



☆今月の担当は、安保（梶木病院）、沼本（吉備高原リハビリテーションセンター）、日高（岡山大学病院）でした。
5月号の担当は、森川（岡山西大寺病院）、櫻井（榊原病院）、和田（岡山労災病院）です。
尚、原稿を依頼される場合は、森川（岡山西大寺病院）のメールアドレスまでお送りください。




締め切り 4月20日（月）必着 森川 med-renkei@saidaiji-hp.or.jp

岡山県の心血管疾患医療連携パス

岡山県では、県民の方々に安心して良質な医療を提供できる体制づくりを目指して、心血管疾患に対する医療連携を推進しています。

その一環として、心血管の治療やリハビリ、再発予防に関わる医療機関同士が患者さんの情報を切れ目なく共有するための医療連携パスツール「安心ハート手帳」及び「地域連携診療計画書のひな型」を作成しています。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">急性心筋梗塞・心不全</p>	<p>「安心ハート手帳（急性心筋梗塞版） 第4版」</p> 	<p>患者さんを中心に、カテーテル治療を行った急性期病院とかかりつけ医療機関や運動施設などが切れ目ない、質の高い医療を提供するシステム。</p> <p>医療機関を受診する時や運動施設に参加する時、薬局でお薬をもらう時、その他入院時や緊急の場合などはこの手帳を持参し、医師や担当者に確認してもらう。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の治療の大まかな流れ ・急性期病院が行った治療内容 ・今後の検査スケジュール ・適切な運動の目安を記載した「運動処方せん」 ・毎日の体重や血圧管理が出来る記録ノート
	<p>「安心ハート手帳（心不全版） 第1版」</p> 	

	<p>「地域連携診療計画書（急性心筋梗塞版）」</p>  <p>「地域連携診療計画書（心不全版）」</p> 	<p>心血管疾患の患者さんを中心として、地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、お互いに情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者さんを支えてゆくための仕組み。</p> <p>【内容】 急性期、回復期、療養型の病院・かかりつけ医・施設での治療経過やADL等を記載</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">指導用冊子</p>	<p>「冠動脈疾患 上手につき合うために 第5版」</p> 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーションとは ・運動療法 ・食事療法 ・薬物療法 ・心肺蘇生法 ・禁煙のすすめ ・日常生活における注意点 など